



葵 HEROES! ~磨け!自分らしさ 挑め!さらなる高みへ!~

令和3年度 岡崎市立葵中学校 生徒会テーマ



△伊賀川プロジェクト



△ひまわりプロジェクト



△夏の大会に向けて



△教育実習

発行所
 岡崎市立葵中学校
 (電話 21-0171)
 (FAX 21-0172)
 6月号

不易流行

校長 荻須 文裕

グラウンドに、小気味よい打球音が響いています。体育館からも校舎内のあちらこちらからも、生徒の走り回る音や楽器の音やらが聞こえてきます。ざわざわと騒然とした音たちの、何と心地よいことでしょうか。

部活動が再開しました。第四波が過ぎ去ったわけではありませんが、私たちが翻弄した大波は、幾分と落ち着きを取り戻したようです。

どの学校にも、各々の空気感があります。門に足を踏み入れた瞬間に身を包む雰囲気は、校舎や校庭の木々から受けるものもあれば、すれ違う生徒たちの笑顔や、どこからか聞こえる、生徒の生活音にも起因しています。

卒業生が久々に顔を見せると「わあ、懐かしい感じ。」

と笑顔で言ってくれます。学校は、ふるさとのようなものなかもしれません。感受性豊かな時期にその地で暮らし、思い、感じ、悩み、夢見た、数々の感情はどこかにひっそりとしまい込まれています。春に生徒や先生が入れ替わっても、校舎がどこかしら変わっても、学校らしさは引き継がれていくのです。

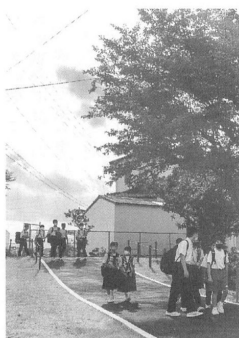
この春から、朝の風景が変わりました。

た。これまで北門を使っていた生徒たちが、新しい東の通用口からも登校できるようになりました。地域の方々のご尽力かつ、市当局のご理解の下で完成に至りました。ありがとうございます。

この工事では、作業区域に立つ桜を残してほしいとお願いしました。今では夏の強い日差しに、通用口から延びるスロープの脇で広く葉を広げています。さらにありがたいことに、近所の方が、庭で育てた芝桜と向日葵をスロープの近くに植えてくださいました。鶯のさえずりも、いつそう爽やかに感じます。

変わりつつあるのは、校庭の景色だけではなくありません。生徒の生活スタイルは時代とともに変化し、さらに、我々教員の働き方にも改革が求められています。日課や部活動、そして行事のあり方等にも、柔軟な対応が必要です。

松尾芭蕉は「不易と流行は同一」と説いたそうです。これからも、伝統を守り、変えるべきものは変え、笑顔あふれる葵を高めていきたいと思えます。



夏の大会・夏のコンクールに向けて

一球一球を大切に

ソフトボール部主持

いよいよ最後の大会の市長杯。新型コロナウイルスの影響で練習できない日々が続きましたが、今まで積み上げてきたことを発揮できるようにがんばります。

今まで私たちはたくさんの方々にお世話になりました。指導してくださった先生や、応援してくれた方々への感謝を忘れずに試合に臨みます。

最後の大会なので、これまで一緒にがんばってきた仲間を信じて、諦めず、悔いなく笑顔で終われるようにがんばります。

感謝の気持ちを含めて

野球部主持

僕たちは、少ない部員数ですが、限られた練習時間の中で勝利に向けて必死に頑張ってきました。しかし、新型コロナウイルスの関係で、次々と大会がなくなってしまう、とてもつらい思いをしてきました。

僕たちは、市長杯が開催できることに感謝しながら、悔いが残らないように精いっぱい、戦い抜いていこうと思います。



常に明るく、テニスを楽しむ

女子ソフトテニス部主持

「西三大大会に行つてね。」

これは、昨年の市長杯が終わわり、引退した先輩が、私たちに言った言葉です。大会がなくなつてしまわなければ西三大大会に出場できたはずの先輩方。私たちはこの先輩方の思いを胸に、これまで練習に励んできました。

部活が思うようにできない期間もありました。それでも、これが最後の大会です。葵中女子ソフトテニス部らしく、常に明るく、テニスを楽しみます。そして、西三大出場を目指して頑張ります。

仲間とともに

男子ソフトテニス部主持

僕たちの市長杯の目標は優勝です。初めての新入戦で見事、優勝することができました。しかし、その後の大会ではどのペアも満足のいったプレーをすることができませんでした。また、新型コロナウイルスの影響で大会に参加することができませんでしたが、練習時間短い分、練習でもラリーを丁寧にしていき、チームの強みでもある競り負けないテニスをします。我慢強く粘り、ミスを少なくし、最後の大会で仲間と笑い合えるよう頑張ります。



自分たちのバスケケット

女子バスケケット部主持 杉浦 芹奈

新型コロナウイルスの影響で、自分

今年のそは

男子バスケケット部主持

昨年度の大会は新型コロナウイルスの影響で市長杯までしか行われず、全中出場を目指して練習に励んでいた先輩たちは、僕たちが思っている以上に悔しい思いをしたと思います。そういう先輩たちの思いも受け継ぎ、「今年こそは全中に出場する」という思いで試合に臨みます。悔いの残らないよう、チーム一丸となつて一戦一戦全力でプレーをし、市長杯は必ず優勝します。

笑顔のバレー

バレーボール部主持

僕たちが優勝を目指していた新人戦では、二位という悔しい結果で終わりました。その悔しさをばねに、それからの練習試合では、自分たちの課題を見つけ、練習を積み重ねて努力してきました。チーム全員で分らないことをお互い聞き合い、つらい練習もお互いに励まし合つて、一緒にがんばつてきました。市長杯では、試合で勝つことはもちろん、最後まで笑顔でプレーすることを集大成とし、全力で楽しむことを大切に戦います。



た。その悔しさをばねに、それからの練習試合では、自分たちの課題を見つけ、練習を積み重ねて努力してきました。チーム全員で分らないことをお互い聞き合い、つらい練習もお互いに励まし合つて、一緒にがんばつてきました。市長杯では、試合で勝つことはもちろん、最後まで笑顔でプレーすることを集大成とし、全力で楽しむことを大切に戦います。



最後の一秒まで

ハンドボール部主持

あっという間の部活動生活でした。新型コロナウイルスの影響で、練習や大会がなくなつてしまい、思うようにいかない時もありました。そこで改めて仲間とプレーできる時間は貴重な時間だと感じました。市長杯での目標は「優勝」です。そのため、僕たちは一人一人が今、何をすべきかをよく考えて練習に取り組んできました。ここまで共に戦ってきた仲間を信じて、最後の一秒まで全力で戦います。



大切な仲間

女子剣道部主持

私はこの中学校生活の部活動で、本当にたくさんの人たちに支えられてこまできました。

その中でも一番の支えとなったのは、共に頑張ってきた仲間です。つらい練習をしているとき、技術が向上せず伸び悩み

んでいるとき、どんなときもいつもそばについて励ましてくれたのは仲間でした。最後の大会では、大切な仲間とベストを尽くし、最高の思い出となるように戦ってきました。



勝つことに貪欲に

男子剣道部主将

僕たちは、今まで団体戦で勝ったことがありません。今度こそ、勝りたいという思いが強いんです。この夏に向けて、僕たちは素振りを繰り返したり、自主トレーニングを行ったりしていました。美しい剣道を目指してきた僕たちですが、それだけでは勝てません。最後はがむしゃらに、貪欲に試合に取り組み、一勝でも多く勝てるように頑張ります。



仲間

サッカー部主将

僕たちの目標は優勝です。そのために、つらい練習もチームで声を掛け合い、乗り越えてきた。時には、お互いの考えがぶつかることもありますが、仲間と共に努力を続けてきました。大会では、練習してきたことが発揮できるとき、最後まで仲間を信じ、そして、今までお世話になった方に自分たちのサッカーを見てもらいたいです。



最後の最後まで

女子水泳部主将

私たちにとって、最初で最後の大会、市長杯。新しい戦いが行われなくなり、私はとても悔しい思いをしました。だから、私はこの市長杯に向けて水泳部の仲間と助け合いながら一生懸命練習してきました。本番では、県大会に出場するという目標が達成できるような今までの成果を出し切り、最後の最後まで全力で泳ぎ切りたいです。



仲間と共に

男子水泳部主将

新人戦と総合体育大会が中止となり、このチームで挑む最初で最後の大会。大会がなくなり、チーム全体のモチベーションが下がってしまいう時もありませんが、仲間と声を掛け合い、先の大会を見据えて練習に励んできました。この仲間と泳げる最初で最後の大会だからこそ楽しみながら全力を出し切りたいです。そして、西三大会、県大会へも長くこの水泳部の仲間と練習ができますよう、頑張っていきます。



市長杯に全てを

女子卓球部主将

私たちは、コロナ禍の中、数少ない練習を大切に、メンバー全員で強くなるうと取り組んできました。大きな声を出したり、触れ合ったりで

きない中でも、先生からのアドバイスを中心に部員同士お互いの気持ちを支えあってきました。試合が直前でなくなることはありましたが、その分、練習試合を通して、力をつけてきました。市長杯では今までの練習の成果を出し、感謝の気持ちを忘れずに戦い抜きます。



最後まで勝ちにこだわって

男子卓球部主将

僕たちは、大会で優勝することを目標に、日々の部活動の一分一分を大切に、一生懸命取り組んできました。どんな相手と試合をしても、自分のできる限りの最善を尽くして勝ちにいき、勝利への執着心を忘れずに、声を掛け合っ



ピンチをチャンスに

女子陸上部主将

昨年から、さまざまな制限を受け、悔しい思いをしてきました。しかし、この状況はみんな同じです。このピンチをチャンスに変えるべく、個人の基礎の底上げに力を入れ、今できることを見直して練習を続けてきました。私は県大会で入賞するというのが目標に向かって、仲間と励まし合い、笑顔で練習を乗り越えてきました。三年生最後の市



長杯。悔いがないように、全力で戦ってきます。

自分に打ち勝て

男子陸上部主将

今年も新型コロナウイルスの影響を受け、思うように練習ができない日々が続きました。僕たちは入部してから常に「自分に打ち勝ち、タイムを〇・一秒縮める」ことを心がけてきました。仲間同士で走りのポイントを共有して、走りを修正し、少しずつタイムを上げようと努力してきました。



市長杯では、仲間とともに走れる喜びを感じながら、今まで教えてくださった先生方、支えてくれた家族への感謝の気持ちを込めて精いっぱい臨みます。

夏のコンクールに向けて

吹奏楽部部長

私たち吹奏楽部は、新型コロナウイルスの影響で部活動が休止になってから、家での自主トレーニングなどを行い、一生懸命練習に励んできました。大人数での合奏ができます、とても残念な気持ちでしたが、ようやく練習が再開した今、楽器を演奏することのできる喜びをかみしめています。



今年このコンクールは、三年生にとって最初で最後のコンクールです。悔いのないように、最高の演奏をしたいと思えます。

代表になって



決断

三年六組

葵中学校で過ごす二度目の春を迎え、今年こそは何か大きなことに挑戦したいという思いから、級長に、そして学年代表に立候補しました。

その両方選ばれ、仲間から大きな拍手がもたらえたときには、学級や学年を引く張っていく存在として頑張っていたという強い思いを抱くことができました。

日々試行錯誤を繰り返しながら、仲間と一緒に、素晴らしい学級、学年を築き上げていきたいと思っています。

生徒会テーマ

輝け！葵HEROES！

～磨け！自分らしさ

挑め！さらなる高みへ！～

生徒会テーマにかける思い

三年七組

私たちは、今年度、「個性」と「挑戦」を大切にしていきたいと考え、この生徒会テーマをつくりました。

「葵HEROES」には、ヒーローのように諦めない心を持ち、生徒一人一人が主役になれるようにという願いを込めました。個性あふれる葵HEROESが、たかさんのことに挑戦できる一年になるように、生徒全員で葵中を盛り上げていきたいです。

表彰の記録



西三春季陸上大会

四種競技

二位

岡崎市民剣道大会

中学生一・二年生の部

三位

七月の予定

一日(木) 耳鼻科検診

三日(土) 私立高校専修学校説明会(三年)

四日(日) 市長杯(野球・サッカー・ソフト・バスケット・卓球・ハンド)

五日(月) 市長杯

八日(木) 全校集会

一〇日(土) 委員会・歯科検診

一一日(日) 市長杯(テニス・剣道・水泳)

一二日(月) 市長杯(バレー)

一三日(火) 生徒集会・生徒議会

一四日(水) 保護者会①

一五日(木) 保護者会②

一七日(土) 保護者会③・ひまわりP

一八日(日) 市長杯(陸上)

一九日(月) 市長杯

二〇日(火) 給食終了・大掃除

二一日(水) 一学期終業式

二二日(木) 八月二六日(木) 夏休み

新型コロナウイルス感染症の対応による校内外の行事の縮小や変更を考慮し、葵中新聞の発行が不定期となります。ご了承くださいませ。よろしくお願いいたします。

葵が丘



普通力と自浄力

生徒指導主事 神谷 直希

AIとの共存が必須となっていく現代の中学生。そんな時代を生き抜くために必要な力が何なのかを模索しながら、日々生活を送っています。

読み書き計算などの基礎学力。人とコミュニケーション能力。計画し実行する段取り力に行動力。中学生はさまざまな経験を通して、驚くようなスピードで成長を続けていきます。

そこで、私が「普通力」と「自浄力」を中学生に身に付けてほしいと力を入れて指導に取り組んでいます。

「普通力」とは、朝、友達や地域の方へ挨拶をする。廊下にごみが落ちていたら拾う。先輩のお兄さんお姉さんとして後輩に優しく接してあげるなど、人が生活を送るうえで、あたり前のことをあたり前に行う力です。そして「自浄力」。自分たちでトラブルに対する解決策を考え、模案し実行していく力です。解決策を作り出すことはAIにも可能かもしれませんが、その解決に向かうためのプロセスの中に、人としての温かみや優しさを感じられる、そんな生徒に育ってほしいと考えています。

今後も生徒の明るい未来を見据え、日々の指導支援に全力を注いでいきます。